

目次	1. 課題の背景 2. サポートの種類 3. サポートの期限 4. サポート終了後の危険性 5. 直近の要対応事項
----	---

## 1. 課題の背景

昨年末には WindowsLiveメールのサポート終了に対応して、我々もお手伝いをさせて貰いながらメーカーを引っ越しをされた方が多数おられます。

ところが、これで一段落ということではありません。「サポート終了」の課題は今後も次々と発生してきます。パソコンを長期間活用しようとする者にとっては、避けて通れない課題です。

そこで、「サポート」とは何か、「サポート終了」の時期や対応策はどんなものか、又「サポート終了」に適切な対処をせず放置しているとどんな問題・トラブル・危険があるのか 等々を実体験を含めて整理し、併せて差し迫っている直近のテーマを取りあげたいと思います。

ここでは、対象はマイクロソフト社が発行している Windows OS、Microsoft Officeに限っています。これ等は年の経過と共にバージョンがアップしてゆくもので、

OS : 2000、XP、Vista、7、8、8. 1、10

Office : 2003、2007、2010、2013、2016 と続いてきました。

(OSでは「Vista」がサポート終了になったことは記憶に新しいでしょう。)

更に複雑になりますが、それぞれのバージョン毎にアップデートがあり、その中にはサービスパック(以下SP)というバージョンアップに近いものが時々あります。

サービスパック : 最初は未適用、SP1、SP2、・・・ と続きます。

このSP毎にサポート期限が異なることになっていますので、これも又要注意です。

只、Windowsアップデートを確実に実行していれば、SPのアップデートはその中で確保されますので、一般的にはアップデートに任せていけば問題ないのですが、時々Windowsアップデートをしないうままサポート終了のパソコンを使っている方がおられ、このような場合我々はWindowsアップデートの実行を強く薦めています。

## 2. サポートの種類

サポートの種類を整理しておきましょう。これには次の3項目があります。

- ①脆弱性の修正・・・主にセキュリティ更新プログラムの提供が中心
- ②脆弱性以外の修正・・・セキュリティとは関係の無い小規模な不具合等の修正、仕様変更
- ③新機能の追加

これ等のサポートは、原則として月1回のWindowsアップデートとして提供されますが、緊急性の高い場合には都度提供されることもあります。

新しいOSやOfficeが発売されると最初は上記3つのサポートが始まり、ある期間継続します。

この3つ共サポートすることを「**メインストリームサポート**」と言います。

しかし、ある期間が過ぎたり新しいバージョンが発売されたりすると②、③のサポートは終了し、

①のみのサポートとなります。これを「**延長サポート**」と言います。

例えば、「Windows 7」のメインストリームサポートは既に終了しており、現在は「延長サポート」期間中です。

やがてこの「延長サポート」も終了する時期が来ます。「サポート終了」とか「サポート切れ」と言われて警告が発信されるのはこの「延長サポート」の終了を意味しているのです。

以上を纏めると以下の表となります。

【マイクロソフト社製品のサポート】

	メインストリームサポート	延長サポート
期間	製品発売から 原則 最低5年間	メインストリームサポート終了から 原則 最低5年間
①脆弱性の修正	○	○
②脆弱性以外の修正	○	×
③新機能の追加	○	×

3. サポートの期限

次にOSとOffice毎にそれぞれの延長サポート終了の時期を以下に纏めます。

マイクロソフト社がこの日程を公表しているのは、利用者に安全な対応を計画的に実行して貰いたいからです。

【OSのサポート期限】

製品バージョン	延長サポート終了予定日
Windows 2000	終了済
Windows XP	終了済
Windows Vista	終了済
Windows 7	2020年1月14日
Windows 8	終了済
Windows 8.1	2023年1月10日
Windows 10	2025年10月14日

【Officeのサポート期限】 (Office : ワード、エクセル、OutLook 等)

製品バージョン	延長サポート終了予定日
Office 2003 全て	終了済
Office 2007 SP未適用、SP1、SP2	終了済
Office 2007 SP3	2017年10月10日
Office 2010 SP未適用、SP1	終了済
Office 2010 SP2	2020年10月13日
Office 2013 SP未適用	終了済
Office 2013 SP1	2023年4月11日
Office 2016	2025年10月14日

要注意、間もなくです。

上記のように本年中にサポートが終了する Office 2007 への対応が直近の課題です。

もし、メールを Office の一部である Outlook 2007 で利用している方は速やかに他のメーラーに引越しされることを強くお勧め致します。

ご自身での対応が難しいと思われる方はどうぞ我々にご相談下さい。

参考ですが、メール用ソフト(メーラー)についても同様のサポート期限がありました。

#### 【メーラーのサポート期限】

製品バージョン	延長サポート終了予定日
Windowsメール	終了済
WindowsLiveメール	終了済

もし、上記メーラーを未だご利用の方は一刻も早く他のメーラーに移行されることを強くお勧め致します。

#### 4. サポート終了後の危険性

ところでサポートが終了したままでパソコンを使い続けるとどんな危険があるのでしょうか。どなたでもバージョンアップ等余計なことはせずできればそのまま使い続けたいのご期待があります。お気持ちは解かります。しかし、世の中にはインターネットウィルス・スパム・マルウェアの新種が日々出回っています。それを趣味にしている悪意を持つ人物がいるのです。それに感染することが心配で、マイクロソフト社は、常に新種のウィルスに対応した防御策をアップデートしてくれていると解釈下さい。「延長サポート終了」とはこのアップデートが無くなることとなります。勿論、だからといってサポート終了日の翌日に急にパソコンが異常になるということは考え難いかも知れません。数ヶ月間、数年間利用しているうちに感染の可能性があると言う訳です。この感染の頻度や確率はどうかということは今のところ誰にも分かりません。確率は少ないかも知れません。

★ここで感染例を目の前で見た私の体験をご紹介します。

#### 怖い体験談

ある時ある方のパソコンを開きました。そしてワードを開き文章を入力しようとした。ところが、自分が入力操作をしていないのに自然勝手に文字入力がどんどん進むのです。まるで目に見えない幽霊が側にいて入力しているかのような不気味な感覚を覚えました。文章そのものには脈絡はなかったですが、単語そのものはしっかりとしたものでした。結局そのパソコンはメーカーに修理依頼して、初期化を実施されたとのこと。

もし、ウィルスに感染した場合、ご自身のパソコンに不具合が発生するだけではなく、気がつかないままに他の方にメールを発信した時受信者にも感染が伝わるという最悪の場合もレポートされています。「サポート切れのパソコンを使っている方とはお付き合いいたくありません。私にメールを送信しないで下さい。」と言われる方がおられるかも知れません。ばそこん119も基本的にはその考えです。従って我々はサポート切れのパソコンに対してはバージョンアップを強く推奨しているのです。

## 5. 直近の要対応事項

さて、直近の課題である Office 2007を利用されている方に対して、サポート切れの対応としてそのバージョンアップアップの考え方を述べておきましょう。併せてOSについても補足します。

### (5-1) Office 2007について・・・本年10月にサポート切れ

(1) Outlook2007をメーカーとして使われていない場合・・・ワードやエクセルのみ使用

特にバージョンアップはしなくとも支障は無いでしょう。

(2) Outlook2007をメーカーとして使われている場合

これだけのために新しいパソコンを購入する程のことはなく、以下の2つの選択があります。。

(2-1) 特にバージョンアップはせず、メーカーをOutlook以外のものに引っ越しする。

無料のメーカーもあり、又 有料だが使い易いメーカーもあります。

(2-2) 最新のOfficeをインストールし、且新規のOutlookに引っ越しする。

但し、新Officeがそのパソコンにインストール可能かどうかの環境確認は必要です。

引っ越しに関してご自身では難しければ我々にご相談下さい。

### (5-2) Windows Vistaについて(未だに利用されている場合)・・・本年4月にサポート切れ済

正直なところ、新しいパソコンを購入される以外に適切な方法をご提案できない状況です。

技術的には現在のVistaのパソコンに新規のOSをインストールする方法はありますが、到底正常には動かないでしょう。Vistaの時代のパソコンはメモリー容量がせいぜい2GBで、メモリー追加も不可のようです。当時はそれが精一杯のハード的限界でした。それに対して現在では4GB～10数GBのメモリーを搭載可能な程にハード的技術が進化しています。そして最新のOS:Windows10では最低4GBのメモリーが必要です。

実は私が試しにある2GBのパソコンのWindows7をWindows10にアップグレードしてみました。ところが、全く動きが重くなり使い物にならないという状況でした。今はこのパソコンは元のWindows7に戻しています。他の実例ですが、私の回りにVistaのパソコンをWindows7にバージョンアップした方がおられ、「最近とみにパソコンが重くなって使いづらい」と嘆いておられます。メモリー増強ができないからと考えられます。かようにVistaに対しては、現在「新規パソコンの購入」しか我々が推奨できるものはありません。

只、1点補足があります。WindowsVistaが全く使えなくて廃棄すべきものとは限らない場合があります。もし、メールやインターネットは使わない、ワードやエクセルの文書作りやCD・DVDで写真を見たり音楽を聴くだけであれば支障なくVistaは使い続けられると考えられます。即ち、ネット接続を一切しないということであればいいのです。XPのパソコンをこのような使い方をされている方も現実おられます。

### (5-3) Windows 7・・・2020年1月にサポート切れ

2年半後のことですが、パソコンの世界ではあっという間に来るといって感覚を持たれ、心の準備だけでも整えておかれればと思います。

技術的には新規パソコンを購入されなくとも Windows 10 へのアップグレードは可能でしょう。但し、前項でも述べたとおりメモリーの関連で使用に耐えうる状態でのアップグレードが可能かどうかはそのパソコンの環境次第と考えられます。

以上ですが、購入後ある程度の年数を経過しているパソコンをお持ちの方は、念のためそのバージョン及びその中のサービスパック(SP)を確認され、上記サービス期限等を照らし合わせておかれれば良いと思います。そして、やがて来るサポート終了に対して、早めの心構えをされておかれることをお勧め致します。